

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
日常生活活動学	PSP23-002	必修	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
関根 聡美	D313	s.arakawa		火曜 12:00~13:00	
授業の目的・概要	日常生活活動学では、基本動作、ADL 能力を維持・改善するために、基本動作、ADL 能力に関連した理学療法評価、治療の実施方法を習得し、基本動作や ADL 能力の問題点を抽出かつ改善できることを目的とする。まず基本動作や ADL の評価、問題点の抽出、治療方法を講義で解説する。その後 ADL を支援する機器、生活環境の改善、法的諸制度の利用方法について説明する				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> デモ/アクション・デモ <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	授業内容の質問は、授業中及びオフィスアワーの時間に設ける。積極的に質問し理解を深めて欲しい。				
教科書	標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学 第5版/著:奈良勲/編:鶴見隆正、隆島研吾/医学書院/2017				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	基本動作、ADL 動作に関連した理学療法評価を説明できる。			RH(3)(4)(5)	
②	基本動作、ADL 動作の問題点を抽出し、治療計画を立案することができる。			RH(3)(4)(5)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	日常生活活動の概要を学習する。	講義	ADL の概要を教科書、配布資料で確認する。	4	
2	日常生活活動の定義と分類を学習する。	講義	ADL の定義・分類を教科書、配布資料で確認する。	4	
3	日常生活活動と生活の質 (QOL) の定義・分類を学習する。	講義	ADL や QOL の定義・分類を教科書、配布資料で確認する。	4	
4	「ADL 能力に対する評価①」 国際障害分類 (ICIDH) と国際生活機能分類 (ICF) の概要・詳細を学習する。	講義	ICIDH と ICF について教科書、配布資料で確認する。	4	
5	「ADL 能力に対する評価②」 国際生活機能分類 (ICF) の概要・詳細を学習する。	講義	ICF について教科書、配布資料で確認する。	4	
6	「ADL 能力に対する評価③」 基本動作、ADL 動作の概要を学習する。	講義	基本動作、ADL 動作を教科書、配布資料で確認する。	4	
7	「ADL 能力に対する評価④」 Barthel Index(BI)の概要を学習する。	講義	BI の概要・詳細を教科書、配布資料で確認する。	4	
8	「ADL 能力に対する評価⑤」 Function Independence Measure(FIM)の概要を学習する。	講義	FIM の概要を教科書、配布資料で確認する。	4	
9	「ADL 能力に対する評価⑥」 BI と FIM の詳細を学習する	講義	BI・FIM の詳細を教科書、配布資料で確認する。	4	
10	「ADL 能力に対するアプローチ①」 自立支援機器の適応方法を学習する。	講義	自立支援機器について教科書、配布資料で確認する。	4	
11	「ADL 能力に対するアプローチ②」 ADL を支援する歩行補助具・車椅子の適応方法を学習する。	講義	歩行補助具・車椅子について教科書、配布資料で確認する。	4	
12	「ADL 能力に対するアプローチ③」 生活環境の評価・改善計画について学習する。	講義	生活環境を教科書、配布資料で確認する。	4	
13	法的諸制度の適応方法を学習する。	講義	法的諸制度の適応方法を教科書、配布資料で確認する。	4	
14	在宅復帰位に向けた ADL 指導方法を学習する。	講義	症例の一連の評価、治療の選定ができるように復習する。	4	
15	ADL の概念と評価及び介入の方向性などについて理解を深める。	講義	症例の一連の評価、治療の選定ができるように復習する。	4	
試	定期試験 (達成度評価、評価ポイントを参照)				

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		80	0	0	0	20	100
総合 力 指 標	知識・技術力	50	0	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	15	0	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	15	0	0	0	10	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	学期末に定期試験を実施して評価をする。教科書ならびに配布資料などから出題し、理解度を問う（筆記試験、80%）。出題形式などは授業時に提示する。				必要に応じて試験の解答を提示し、解説をする。	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	授業中に与えられる課題で授業の理解度を問う。(20%)					
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	医療機関、介護施設にて実務経験あり						
実践的授業の内容	理学療法業務を行う問題点を臨床経験に基づく視点から解説し、具体的な対応策を考察し検討する。学生の理解度に応じて授業計画を変更することがある。						
そ の 他	Teams を使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。遠隔授業では、課題のダウンロードや動画視聴などがあるため、通信量に十分に注意すること。今後の感染症の状況など、社会情勢に応じて再度シラバスの変更が生じる可能性がある。						